

R6年7月17日 高崎市上小埜町にて、露地茄子現地研修会を開催いたしました。
関係者及び新規者を含む20名が参加し今後の栽培管理について研修しました。

今回は、目標収量8 t / 10aを確保するために剪定方法や高温対策・長雨対策など圃場を確認しながら研修しました。

研修内容

【講師：西部農業事務所 担い手・園芸課】

1) 8月の収穫最盛期の前にしておきたいこと

- V字4本仕立て（1芽残し剪定）の徹底
- フトコロの混合った、徒長した枝葉、病葉等は早めに摘除
- 台風対策、病害虫対策の徹底

2) 茄子の生理生態から考えた栽培管理のポイント

- 着果
- 栄養診断
- 適期収穫
- 養分吸収率
- 適正施肥

3) 現地実証圃の設置状況

- ① V字5本整枝（片側2本と3本）：箕郷地区
- ② マルチ下へのかん水チューブ設置：高崎地区
- ③ 天敵製剤導入（チリカブリダニ、ミヤコカブリダニ）：高崎地区

研修の様子

